

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年10月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

10月29日、ISDA 会長 Eraj Shirvani と CEO Robert Pickel は日本銀行決済機構局幹部とミーティングを行った。おもな議題は、複数 CCP とする場合と単一 CCP とする場合のそれぞれのリスクに関する問題点、日本における OTC デリバティブの清算機関の利用とトレードレポジトリに関する進展について。

同日、ISDA は金融庁ともミーティングを行い、OTC デリバティブをめぐる市場と規制環境の現状について意見交換を行った。ミーティングでの論点は、1)トレーディング/オペレーション上のインフラ向上へ向けた業界の努力（6月2日付の NY FED レターの中で明記されている数々の目標）、2)米国とヨーロッパで提案されている OTC デリバティブへの新しい規制、3)ISDA の OTC デリバティブ業界ガバナンスの再編、4)相対担保をめぐる規制、5)日本の OTC デリバティブ市場の進むべき方向等。

10月30日、ISDA CEO Robert Pickel は証券取引等監視委員会(SEC)とミーティングを行い、Credit Derivatives Determinations Committee をはじめ、CDS 市場における新しい枠組みについて、意見交換を行った。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knamba@isda.org)

10月23日、Japan Credit CCP Working Group の第6回会合において、複数の CCP に対して送付した CCP に関する要望書へのフィードバックが紹介された。メンバーには、ISDA と規制当局(日本銀行、金融庁、証券取引等監視委員会)との間で行われた、日本銘柄 CDS を扱う CCP 設立についてのミーティングについても周知された。本 WG は、議論が必要とされた議題について全て検討を終えたため、WG としての活動は、討議案件が浮上するまで一時休止することとした。

10月26日、Japan Credit Derivatives Working Group のメンバーは、Credit Derivatives Determination Committee に関する進め方について、ミーティングを行った。

Equity Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

10月20日、Japan Dividend Swaps MCA の修正版ドラフトが、レビューのため、WG メンバーに回覧された。前回ドラフトからの主な変更点として、Unadjusted Stock Dividend 定義から Rights Issue を削除することと Morning Print 定義上において基準値段を参照することが新たに提案されている。

10月22日、ISDA は日本株およびインデックスを対象としたヴァリアンススワップに関する Market Practice Statement を発行した。本 Statement は、取引所により定められた値幅制限が、どのような場合に Trading Disruption による Market Disruption Event を構成しうるかを示すものであり、Calculation Agent が MDE 発生に関して具体的に判断を下す際に判断基準として使用することができる。本書は、ISDA website(www.isda.org)上の Market Practice Statements に関するページにて閲覧が可能。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Accounting Committee
(日本語による会議)

11月6日

Collateral Committee
(日本語による会議)

11月13日